

三年とうげ ① 一の場面（冒頭）おそるおそる歩きました。（

一、三年とうげの「ながめ」と「言いつたえ」を一言で表しましょう。

<p>三年とうげの「ながめ」を一言であらわすと</p>	<p>どの言葉や文で上のように思いましたか。</p>
<p>例 美しい きれいな等</p>	<p>・春には、…… ・とうげからふもとまでさきみだれました。 ・だれだつてため息のするほど、よいながめでした。 ・秋には、…… 等</p> <p>深める発問 ① さきみだれました。 さく+みだれる（複合語） 「さきました。」と「さきみだれました。」の違い ② 春と秋の違い 春：花 秋：葉の紅葉 （繰り返し：強調） ・とうげからふもとまで ・だれだつてため息のするほど……</p>

<p>三年とうげの「言いつたえ」を一言であらわすと</p>	<p>どの言葉や文で上のように思いましたか。</p>
<p>例 こわい ぶきみな等</p>	<p>・三年とうげで転んだならば、三年きりしかいきられぬ。 ・長生きしたくも、生きられぬ。</p> <p>深める発問 ③ みんなは、言い伝えについて、どう思っていたのですか。 ← おそるおそる歩きました。 ※村人のみんなは言い伝えを信じていた。</p>

二、三年峠はどのようなとうげだと思いますか。理由も書きましょう。

三年とうげ ② 二の場面（ある秋……）村の人たちもみんな心配しました。（

一、おじいさんの気持ちが分かる言葉や文に線を引きましょう。（教科書）  
その中から三つ選び書き出しましょう。

おじいさんの気持ち分かる言葉や文

分かったこと思ったこと

深める発問

① 三年とうげの言い伝えを思い出させる  
発問 前時の復習)

・「どうしておじいさんは、真っ青になり、  
がたがたふるえたのでしょうか。」

・「どうしておばあさんにしがみつき、お  
いおい泣いたのでしょうか。」

・ 会話文から

※言い伝えを信じ切っているおじいさ  
んの姿をイメージ化

② どうとう病気になるってしまいました。  
とうとう

←

その日から

ごはんも食べない

ふとんにもぐりこむ

←

※病気になるのは当たり前

※③ 村の人たちはどんな様子ですか。

・ 村の人たちもみんな心配しました。

←

※やつぱりおじいさんと同じで言い伝え  
を信じている

二、この場面のおじいさんの気持ちを一言で書  
き、また、そのわけを書きましよう。

る。 だ ち

三年とうげ ③ 三の場面  
 (そんなある日のこと… ) 「うん、なるほど、なるほど。」

一、次の三つのおじいさんの会話文から、その時の、おじいさんの気持ちを考えてみましょう。

おじいさんの言った言葉(会話文)	おじいさんの気持ち
① 「どうすればなおるんじや。」	・ 治りたいというおじいさんの気持ちのイメージ化
② 「ばかな。わしに、もっと早く死ねというのか。」	・ 言い伝えを信じ切っているおじいさんのイメージ化
③ 「うん、なるほど、なるほど。」	・ トルトリの言ったことに納得したおじいさんのイメージ化

深める発問  
 ◎ おじいさんの、それぞれの会話は、トルトリのどの言葉に対したものが考えさせる。  
 ① きつとなおるよ。  
 ② もう一度転ぶんだ  
 ③ ……  
 ※ ◎ 「どこでおじいさんの気持ちが変わったのでしょう。」

二、おじいさんの気持ちが変わったわけをまとめましょう。

三年とうげ ④ 四の場面（そして、ふとんから…） 一行あきまで

一、おじいさんの気持ちが分かる言葉や文に線を引きましょう。（教科書）  
その中から三つ選び書き出しましょう。

おじいさんの気持ち分かる言葉や文	分かったこと思ったこと
ふとんからはね起きると、	<b>深める発問</b> ① 三年とうげで転んだ直後のおじいさんの様子と現在の様子と比べる。 真っ青になり、がたがた おばあさんにしがみつき、おいおい泣きました。等
すっかりうれしくなりました。 あんまりうれしくなったので、	すつかりうれしくなり けろけろけろっと にここに等
けろけろけろっととした顔 「もう、わしの病気はなおった。百年も、二百年も、長生きできるわい。」 ここにこわりました。	② どういう訳でおじいさんの様子が変わったのか。前時の学習との関連

二、おじいさんの気持ちはどのようにかわりましたか。わかったわけも入れてまとめましょう。

はじめ、おじいさんは三年とうげ  
られないとかなしんでいました。  
でも、

登場人物の気持ち  
・文末表現 ……としました。  
・会話文  
・ごんのことから  
気持ちをすいりする。

三年とうげ ⑤ 五の場面（一行あきく最後まで）

一、三年とうげの「言いつたえ」と、ぬるでの木のかげから聞こえてきた「歌」をそれぞれ一言で言い表しましょう

三年とうげで 転ぶでない。

○ 一言であらわすと、

三年とうげで 転んだならば、

三年きりしか 生きられぬ。

長生きしたけりや、

そのわけ

転ぶでないぞ。

三年とうげで 転んだならば、

長生きしたくも、生きられぬ。

えいやら えいやら えいやらや。

○ 一言であらわすと、

一ぺん転べば 三年で、

十ぺん転べば 三十年、

百ぺん転べば 三百年。

こけて 転んで ひざついて

しりもちついて でんぐりがえり、

長生きするとは、こりや めでたい。

深める発問

① 言い伝えと歌を対比する

イメージ

信じていたのは、

こわい言い伝え

おじいさん

不気味な言い伝え

おばあさん

（死の言い伝え）

村人



しあわせの歌  
長生きの歌

トルトリ

二、ぬるでの木のかげで歌ったのはだれだ、そのわけも書きましょう。